

2025 年度 大学卒業生調査報告（抜粋）

1、報告要旨

本報告は2022年3月の卒業生を対象に行った「卒業生アンケート」を基に、本学でのキャリア支援と学びの有用性などをまとめたものである。

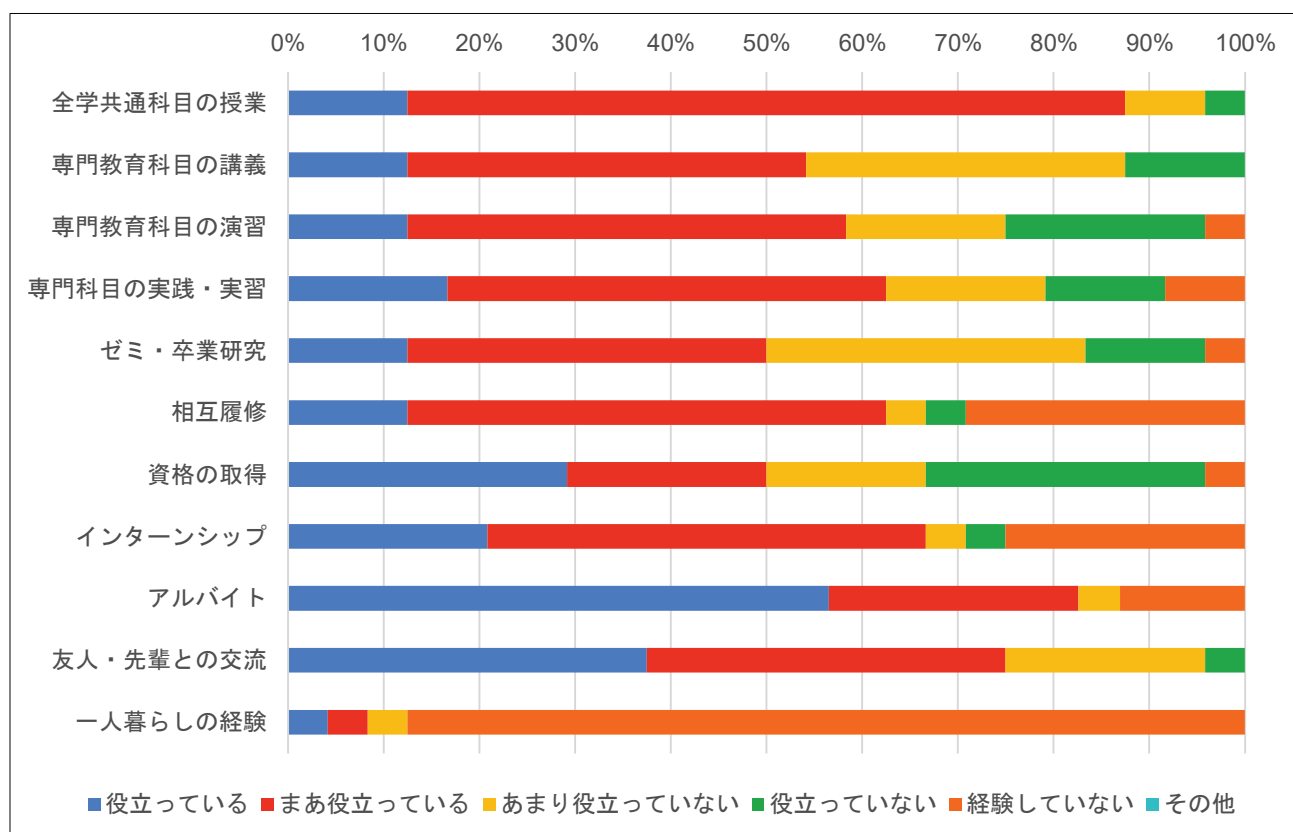
「学生時代に身につけた知識・スキル」は実社会で役に立っていると思いますかという設問に対して、高評価の回答割合がかなり高い。回答者は、卒業して社会に出てから3年間が経過した現在、本学で学んだことが実社会で役立っていると感じていることが分かる。

また、ディプロマ・ポリシーのひとつである“他者尊重”は50%の卒業生が「役に立っている」と回答し、「まあ役に立っている」という回答と合わせると肯定的な回答が100%となっている。同様に、“コミュニケーション能力”の評価も高く、肯定的な回答が100%である。これらの結果から、本学の学びの中で、他者を尊重し、主体的に関わっていく人間力が育まれていることが示唆された。

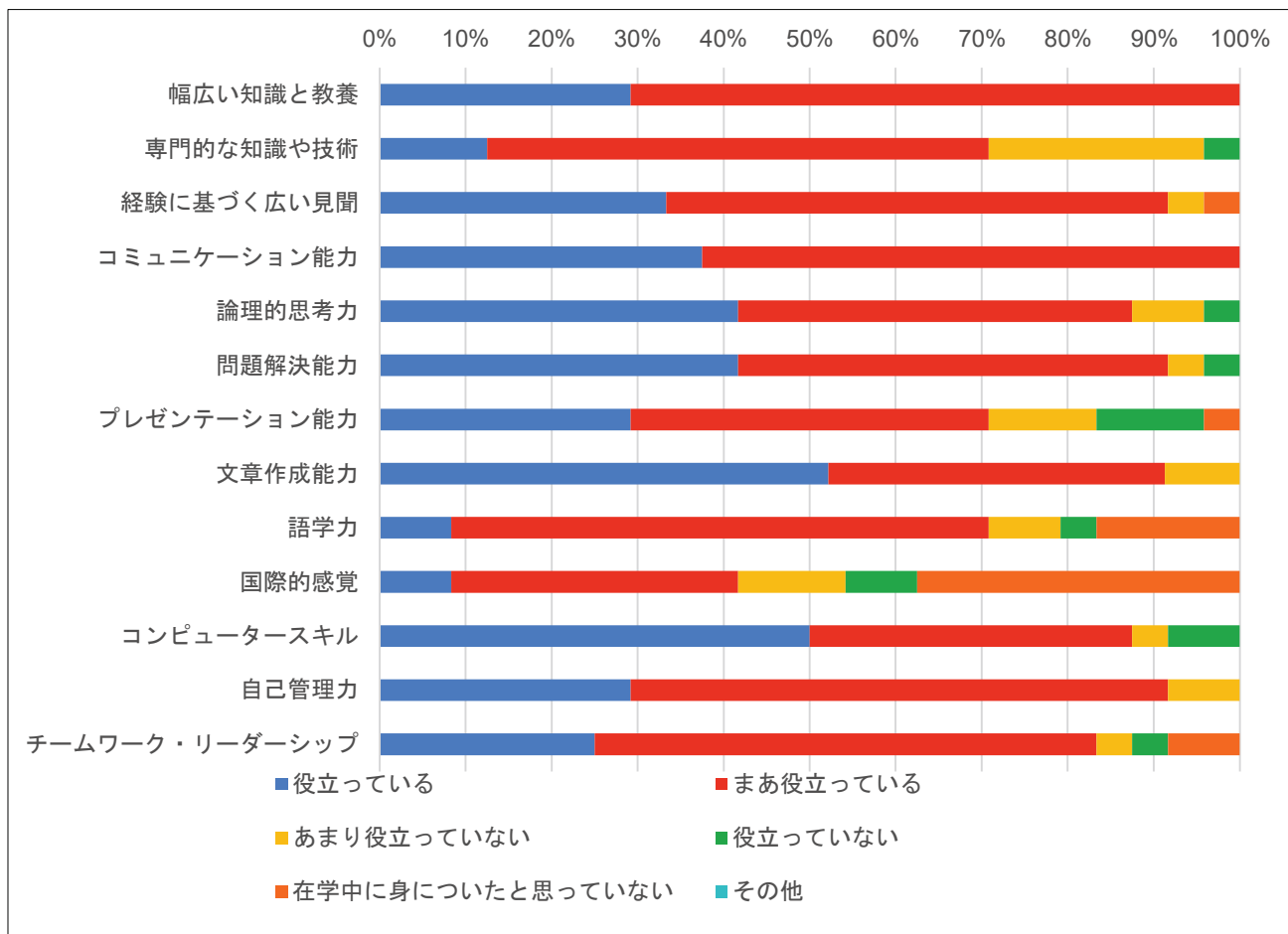
本アンケートは、2025年5月に対象者95名中25名より回答を得た。

2、結果の概要

Q.社会に出て仕事をしてみて感じたことについて



Q.「学生時代に身につけた知識・スキル」は実社会で役に立っていると思いますか



Q.本学が掲げる「学位記授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」を基に作成したカリキュラムマップにより学生時代に身につけた能力は実社会で役に立っていると思いますか

